

調査の概要

・調査目的：

入学を予定している方の実情をふまえ、有益な学生支援の検討および実施を行うための資料とすることを目的とする。

具体的には、下記4点を中心とする。

1. 新入生個々の大学教育や将来への多様なニーズを把握し、適切な学生支援事業を入学時から行うために、新入生個々の情報を得る。
2. 新入生の標準的な学生生活の状況を把握する。
3. 新入生の家庭状況からその経済的基盤を推定することにより、お茶の水女子大学における学生支援事業を改善するための基礎資料とする。
4. 国立大学入学者の学生生活・家庭状況・進路状況などに関する調査研究を行うための基礎資料とする。

・調査時期：2012年3月

・調査方法：

郵送による送付・返送。一般入試合格者（および保護者）、私費外国人留学生に対しては、他の入学手続関係書類に調査票および調査返送用封筒を同封し、他の書類とともに回答の返送を依頼した。その他の方法での合格者（および保護者）に対しては、別途、調査時期に、調査票および調査返送用封筒を送付し、返送を求めた。

・調査分析対象：

返送者のうち分析許可を得ることができなかった者は分析対象から除外。

1. 「新入生を対象とした調査（以降、新入生対象調査とする）」

平成24年度学部入学学生484名。有効回答数400名（入学者のうち82.7%）。
文教育学部173名（入学者のうち81.2%）、理学部110名（同82.1%）、生活科学部117名（同85.4%）。

2. 「新入生の保護者を対象とした調査（以降、新入生保護者対象調査とする）」

平成23年度学部入学学生のうち私費留学生を除いた483名。有効回答数398名（入学者のうち82.4%）。

・実施主体：

国立大学法人 お茶の水女子大学 学生支援センター

「文部科学省特別経費プロジェクト・統合型学生支援システムの構築による女子高等教育機会の保証」（詳細は、<http://www.ocha.ac.jp/gss/index.html> を参照）。

・個人情報について：

お茶の水女子大学では、個人情報の管理に関する規程および個人情報の公開に関する取扱要項等の規定を定めて、本学が保有する個人情報の適正な管理に努めている（詳細は、http://www.ocha.ac.jp/plaza/info_public/individual/index.html 参照）。

調査票は、大学で付けたID番号で管理をし、回答者の氏名や住所などは記載せずに回答・返送を求めた。

・ 参考とした調査・報告書

- ・ Benesse 教育研究開発センター (2009) 「大学生の学習・生活実態調査報告書」
- ・ 文部科学省 (2011) 「学校基本調査 - 平成 23 年度 (確定値) 結果の概要」
http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/__icsFiles/afieldfile/2012/02/06/1315583_2.pdf
- ・ 日本学生支援機構 (2012) 「平成 22 年度 学生生活調査」
http://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_chosa/documents/data10_all.pdf
- ・ お茶の水女子大学 (2011a) 「平成 22 年度 お茶大生の学習環境と生活・意識に関する調査」
- ・ お茶の水女子大学 (2011b) 「平成 23 年度 新入生の生活に関する調査報告書」
- ・ お茶の水女子大学 (2012) 「キャリア意識調査報告書」
- ・ 全国大学生生活協同組合連合会 (2012) 「CAMPUS LIFE DATA2011 第 47 回学生の消費生活に関する実態調査」
- ・ 全国大学生生活協同組合連合会 (2010) 「2010 年度 保護者に聞く新入生調査報告書」
- ・ 全国大学生調査コンソーシアム/東京大学 大学経営・政策研究センター (2008)
「全国大学生調査 第一次～第三次調査 基礎集計表」
http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/crump/resource/kiso2008_01.pdf